

4 自由意見（自治会活動を行う上で、日頃感じていること等）

※記載された意見をテーマごとに区分して掲載しています。

成功事例
担当職員の温厚な指導力と対応の誠実性に感謝の念でいっぱいです。自治会振興に心を込めたチャレンジをしたい。
課題は山程あるが、課題解決に向けて取り組んでいきたい。今後とも御指導、御支援の程、よろしく申し上げます。
自分が自治会長になってから、自治会花だんをやめ、バス待合所の撤去、集会所の解体をしました。会員の高齢化を考えて、身の丈に合った活動にしました。会員の負担がなくなったので、特に不満の声はありません。役員を強制したり、無理に活動しようとする、自治会を抜ける人も出てくるので、しばらくは、このままでいこうと思っています。
特別ありませんが、今年の冬の大雪の時、町内の農家さん(4件)のトラクターで生活道路を除雪して頂きました。町内会としても大変助かりました。ほんの気持ちの御礼をさせてもらいました。
高齢化で空き家が増えていくと思います。田舎なもので全世帯参加してくれます。
親子レク(お祭り、子どもみこし、野外遊び等)若い親たちの関係が生まれた。
自治会未加入の問題
集合住宅などアパートに入居されている方の自治会加入率が低くて、未加入者への啓蒙について非常に難しさを感じている。
アパートが多く、入居者の確認が難しい。
訪問しても出てこない人が多い為、なかなか輪が取れない。
当会は、会員の減少、高齢化が著しい。当地は農業地帯なので、1つの方策として土地の流動化も必要ではないか。
自治会に入らないという世帯もアパート世帯に多くなってきている。高齢者単身、病気の方の自治会離脱も見られる。

担い手不足
役員のなり手がいない。交替しにくい。
活動を担う若い世帯が無い。
役員に選任されても活動に参加できない(仕事の関係)
高齢化が進み、役員を引き受けてくれる人がいなくなっている。
自治会活動で困っていること①役員のなり手不足②高齢化により、活動の範囲が狭められる。
1. 自治会上部組織(地区社会福祉協議会、地区体育振興会等)への役員、理事の推薦が非常に苦痛である。2. 民生委員及び美化推進委員の推薦も大変である。※上記が一番、会長になりたくない事柄です。
自治会役員をしてくれる方が少なく、任期が終わっても再任(選)され、役員が固定化しつつある、定年延長や多忙で引き受けてくれ難い・特に会長職になり手がいない。
総会に若い会員が出席しないために役員が高齢化しています。
現役世代は日中は働くことで精一杯のようである。これは、現代社会構造に由来するのだと思います。真面目な人ほど班長や役員は務まりませんと言っている。自治会組織の根本的改善が必要なのかも知れません。それが問題です。
役員のなり手がいない・班長は班内持ち回りだが単身高齢者世帯が増しており、持ち回りを飛ばす対応が年々多くなっている。
役員のなり手がいないため、不在の役職あり。
活動のすすめ方
コロナ禍の影響で、総会、親睦会等の行事が実行しづらいので、自治会内の意見交換ができていない。
ここ3年ぐらいは、コロナ禍を考慮して、集まりや個別訪問を控えています。
就任したばかりで自分でもよくわからない状況です。
自治会行事への参加者が少なくなり、参加者は固定化している。

<p>広報ポスティングの方法も考える必要あり。非自治会員の方に広報が届きにくくなっている。</p>
<p>コロナ禍期間中は、自治会費を 200 円とする。</p>
<p>コロナ禍により、地域の活動が中止、規模縮小を余儀なくされ、「地域のつながり」の希薄化が課題となっている。</p>
<p>コロナ以降、自治会の集いができない。新年会、花見、観楓会は会館で実施してきたが、毎回 20 人以上集まるので、狭い会館では無理。顔を合わせるのは春と秋の市民清掃の時のみ。早く交流する時期を待っています。</p>
<p>住みよい地域共同体づくりの上で、大事な要望などをまとめて市長懇談などの時に話し合ってもらいたい。</p>
<p>総体的に高齢化し、行事活動に携わる人材が少ない。以上の現状から将来的に自治会の存続に危機を覚えます。</p>
<p>班集会(お茶会、花見等)、班長の積極的な働きかけが必要。</p>
<p>個人情報保護と高齢者見守りの関係で、どこに高齢者がいるのか不明な場合もある。</p>
<p>町内会の組織が現在の状況に合わなくなっているのではないかといった意見がある</p>
<p>行政への要望</p>
<p>自治振興のため希望する自治会には、メール等による通知、報告等ができるようにしてもらいたい。</p>
<p>ゴミ箱の取替等の補助金につき、地主の承諾書は不要としてよいのではと思います。(承諾書が取れない場合がほとんどである)</p>
<p>ゴミ箱設置場所の確保については、自治会丸投げの現状では無理難題であり、解決策は市主導で対応すべきではないか！！</p>
<p>防犯の為に街路灯、当自治会で 30 基になり、電気料が年 6 万円を越える見込み。負担が大きいのので、どうかして欲しい。ゴミステーションの維持費大のため、修理したくてもできない。軽減策はないか。</p>

ゴミステーション用地確保における手助け等・自治会内での場所確保が難しく、ゴミステーションの増設ができない。

会館の老朽により解体が必要だが、費用の準備ができない。

考察・まとめ

アンケートの結果から、自治会を取り巻く環境、問題は多くの単位自治会が共通しており、平成 26 年に行ったアンケートと比較して、自治会が置かれている状況に大きな変化はないものの、特に自治会員数の減少や、役員のなり手不足等の問題が、さらに深刻化していると思われます。また、今回のアンケートでは、ICTに関する質問を加えることで、ICTの利用状況なども確認することができました。

前回のアンケートの結果から、それぞれの問題対策として、解決に向けた取り組みを行ってきましたが、引き続き下記の取り組みが必要です。

① 未加入者の対策

- ・自治会活動についての情報発信、情報共有の取り組み
- ・アパート等の入居者対策として、宅建会社や所有者への協力依頼
- ・役員割り当ての免除、会費の減額措置などの柔軟な対応

② 役員の担い手不足

- ・行事や日常の活動における新しい担い手の掘りおこし
- ・班や部会の再編による役員数の減少

今回の調査から見える自治会の現状把握に努め、自治会が直面する課題の解決にICTの活用の検討も視野に入れながら、自治会が継続していけるよう、行政と連合自治会協議会等と協働により、自治会役員に対する業務のサポート及び支援、自治会業務の簡素化対策を講じていく必要があります。